

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、令和元年 10 月 9 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第10331号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	三井化学アグロ株式会社
第10332号	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサゾール液剤	ホクサン株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（適用削除および今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

- ・作物名「稲」、使用目的「登熟歩合向上」を削除する。
- ・作物名「稲(箱育苗)」、「稲(折衷苗代)」及び「稲(畑苗代)」のヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数を「4回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内、本田では1回以内)」から「3回以内(移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)」へ変更する。
- ・作物名「すいか」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病虫害名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシイソキサ ゾールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壤約5L) 1 箱当り 500mL	は種時及び 発芽後	2回 以内	土壌灌注	4回以内 (移植前の土 壌混和は1回 以内、移植前 の土壌灌注は 2回以内、 本田では1回 以内)
	ごま葉枯病	500 倍		は種時	1回		
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壤約5L) 1 箱当り 1L	は種時及び 発芽後	2回 以内		
	ごま葉枯病			は種時	1回		
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ヒシウム菌)	500 倍	1 L/m ²	は種直後 及び発芽後	2回 以内		

[変更前] (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシノキガ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (畑苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	1000 倍	3 L/m ²	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	4 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内、 本田では 1 回 以内)
	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進			は種直後			
稲	登熟歩合向上	500 倍	150L/10a	出穂直前～ 出穂期	1 回	散布	4 回以内 (種もみへの 処理は 1 回以 内、移植前の 土壌混和は 1 回以内、移植 前の土壌灌注 は 2 回以内、 本田では 1 回 以内)
		原液	0.3L/10a			空中散布	
		3 倍	0.8L/10a			無人ヘリコプターに よる散布	
すいか	苗立枯病	500～ 1000 倍	3 L/m ²	は種直後	2 回 以内	苗床灌注	2 回以内 (育苗土壌へ の混和は 1 回 以内、苗床へ の灌注は 1 回 以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシノキガ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	500～ 1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5L) 1 箱当り 500mL	は種時及び 発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内)
	ごま葉枯病			500 倍			
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進 ムレ苗防止	1000 倍	育苗箱(30 ×60×3 cm、使用土 壌約 5L) 1 箱当り 1L	は種時及び 発芽後	2 回 以内		
	ごま葉枯病			は種時			

【 変更後 】 (続き)

作物名	適用病害虫名 使用目的	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	ヒドロキシクワ ールを含む農薬 の総使用回数
稲 (折衷 苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	500 倍	1 L/m ²	は種直後 及び発芽後	2 回 以内	土壌灌注	3 回以内 (移植前の土 壌混和は 1 回 以内、移植前 の土壌灌注は 2 回以内)
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根 及び活着促進	1000 倍	3 L/m ²	は種直後	1 回		
すいか	苗立枯病	500～ 1000 倍				苗床灌注	2 回以内 (育苗土壌へ の混和は 1 回 以内、苗床へ の灌注は 1 回 以内)

【 申請者による変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。